

高教組より 米満敏孝
 今年五回目となる日高教中四九プロックスソフトボール大会が一月一七日、長崎県諫早市の県立総合運動公園で開かれ、高知高教組選抜チームが昨年に続き見事に優勝、二連覇を果たした。

監督・選手一三名・応援四名の計一七名は長旅の疲れをもとせず、長崎高教組、岡山高教組の速球派投手を硬軟織りませた攻撃で揺さぶり、守っては先発・抑えの両投手を中心に、堅い守りで要所を締め、二試合とも相手に得点を許さなかった。

点差が開いても攻撃の手を緩めずに勝利に徹する監督の采配と選手の力がうまくかみあつた二連覇であつた。

【試合結果】

- 1回戦 岡山3—2山口
- 長崎12—10佐賀
- 2回戦 岡山15—14香川
- 高知6—0長崎
- 3位決定戦 長崎5—4香川
- 決勝戦 高知9—0岡山

高教組女性部より

高教組女性部では窪田充治先生にご案内いただき、戦争遺跡をたずねます。一緒にいかがですか？家族での参加歓迎です。

高教組女性部講座

平和学習とみかんがり
 十一月十四日(土) 十時
 南国ろうきん前集合
 のりあわせて出発
 南国市前浜(掩体)

手結(震洋隊)

昼食(あわびめし)栄楽

みかんがり

参加申し込み
 十一月九日(月)までに
 高教組書記局もしくは高知農業高校竹島まで

**三十五皿の思い出 其の一
 奈良坂 般若寺**

松山 和雄

その寺に格別な興味があつたわけではなかつた。浄瑠璃寺と岩船寺を訪れての帰り道「般若寺」の響きにつられて、つい寄り道をした。晩冬の夕刻の外気は思ひのほか冷たく、思わず首が短くなる。荒れた築地塀に沿って少し歩くと、西陽を受けた古めかしい楼門の前に出る。開かれた扉から中をうかがうと、思わず「ぞくぞく」するような光景が目に入った。風に揺れる赤茶けた枯れ草の中に巨大な石塔が立っている。

足を踏み入るとさらにその感は強くなる。視界に入るのは一面の冬枯れた草木と巨

2010年 初歩きと新年会のご案内!

恒例の、高退協・山の会合同の初歩きと新年会を次の要項で行います。ふるってご参加下さい。

<初歩き> 高知南嶺と 芳原自然と歴史の道

コース： 筆山登山口—皿が嶺—鷲尾山(昼食)—烏帽子山—白土峠—芳原
 (約8キロ—高知市から、旧春野町との境界白土峠を経て春野芳原への歴史の道(白土往還)を歩きます。芳原に、

「はるの湯」の送迎バスあり
 日時：1月6日(水) 10:00~15:00
 集合場所：筆山登山口(要法寺西、石段下)
 集合時間：午前10時
 持ち物：弁当、飲み物、おやつなど
 写真代：300円

<新年会>

場所：「はるの湯」(高知市春野町西分
 Tel 849-5400)
 時間 17:00~19:00
 (帰りは上町二丁目、はりまや橋経由で高知駅までの送迎バスあり)
 会費：6000円
 <申し込み>
 連絡先：井垣政利 Tel 088-849-4628
 土居正明 Tel 088-844-2444
 締切日：12月19日(土)
 備考：①初歩きのみ ②両方参加の別もお願いします
 少雨決行 (新年会のみも歓迎)

温泉昼食会

今年九名で香美市立美術館とニューわかみや温泉に行ってきました。美術館では「福原云外追悼展」が開催されていて、二枚の写真と二十点の作品が私達を迎えてくれました。

他には「土佐の熱き芸術家たち」と題して石川寅治・山脇信徳・西岡瑞穂等のフランスの風景画が多数展示されていきました。また堂本印象・小磯良平・川端龍子と言った個人所蔵の大家の作品を目に

大きな石塔、まさに特大の卒塔婆だ。それと何体かの石仏と小振りな本堂だけ。本堂の破れが目立つ格子の扉も、建て付けが悪いのかそここ隙間が見られる。まさに「般若」のごとき魔物が住み着いていそうな、「荒れ寺」の風情だ。本堂の脇には古い瓦や柱の上に置かれる組み物の部材が無造作に置かれ、本堂改修のための瓦寄進の張り紙が立てられていた。

ここ、奈良坂は京都と奈良を結ぶ街道の要衝の地で、そのため幾度となく火災・兵火により堂塔が被災しているという。寺の名称と歴史、そして目の前の光景になんとなく一人で合点したものだ。帰り道、坂の上から市街地

を見下ろすと、すでに樹々と葺の判別もつかない。墨絵のように広がった春日の森の手前に大仏殿の「鷲尾」だけが金色に輝いていた。

再び般若寺を訪れたのは夏の陽が西に大きく傾いたときだった。緑深い草に囲まれた石段に腰をかけ、陽光を背に受けた楼門のシルエットを眺めていると、暑気も音も時間さえも忘れて、自分がどこにいるのか分からなる不思議な空気に包まれた。

「般若」とは悟りを開くための根源的な知恵のことだと知ったのはそれから二十数年後のことだった。

「般若寺」、この寺は黄昏時がいいようだ。

次回予定 東大寺戒壇院



する事ができて思わぬ僥倖でした。その後イノシシが出そうなる山の中を車で走って温泉に到着すると、玄關の檻の中にイノシシが飼われていて驚きました。さて、この温泉は

カルシウムが豊富でお肌がツルツルになり特に女性にお勧めです。昼食は「チャングムの誓い」や韓流ドラマでお馴染みの韓国料理で、石

(浜田りか)

俳句

八月 一五日 土曜
高知市五台山、牧野植物園

合田青幹
新しき秋風吹くや五台山
陣列の小鉢に秋の山野草

吉本伸秋

魚跳ねて新涼生るる水の上

駒繁こまつなき小滝こたきに揺れて紅零べにこす

九月 一九日 土曜

いの町いのち土佐和紙とさわし工芸村

合田青幹

万古ばんこより水澄みづむ里や紙の村

水分みくまりの巨岩こつ怪石水澄みづめる

吉本伸秋

漆黒しつこくの梁はりの涼しき画廊がらうかな

枸杞くこの実みの日に赤々と

ぶら下がり
中内英明

目立たねど曙あけぼのそら草の一と抱え

秋天あきを引き寄せてある

ガラス拭き
中内みち代



八甲田、恐山へ

この九月三〇日から山旅に出掛けた。行先は青森県である。ずっと以前に東北の「百名山」を巡ったことがある。月山、鳥海、岩木、早池峰には登ったが、雨のため八甲田は中止、永年気になっていた。やっと心が動いて今回の山行となった。ついでに三大霊地の一つ恐山にも参拝しようと出掛けたわけである。

一日目は土贖・東海・東北八森の四線を乗り継いで青森へ。二日目はバスで酸ヶ湯温泉へ登り、いよいよ最高点大岳への登山開始。地図で拝見するところでは、たいした登りではないようであるが、たいへんな苦行を強いられた。

虎杖いただりの花はなさびらけり風白し

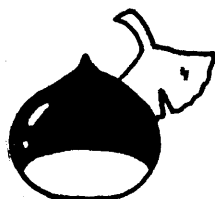
草木染ぼくろ吊し爽やか機はたを織る

小笠原さちを

天蚕てんさんの一樹ひときに巣くふ繭まゆいくつ

どさと薪積まきみ上げてあり草の花

短歌



終日雑詠

神原忠彦

時折りはみづから「老人」と言
い出しぬ「いやまだ若い」と世
辞もありつつ

姉おとうともつれて遊ぶ歩行浴
バスしぶき飛び散る土曜日の午
後(神田の土佐ぼかぼか温泉にて)

半値なるちくわ見てをればわが
名呼ぶ画人の友あり大橋通り

教え子たちの今

叶岡淑子

「あらまあ」と出逢いて嬉し美
術館の閉館も過ぎベンチに語る

連れ合いを亡くし十年いま父母
の介護の日々と饒舌にやなりき

臨時保母五年目というNさんは
園児と自分の貧困を言う



火山帯特有の礫石の上、急勾配の道が続く。しかし展望は絶景、秋色に染まる津軽の山々、幸運の天候にも恵まれ、岩木と岩手の両高峰も眺めることができた。やっとの思いで最高点へ。多くの登山客に

秦泉寺残日日記

坪井 幹之

出会った。地図で想像していた以上に時間がかかりそうであったので縦走は諦めて直ちに「毛無タイ」への下りにかかった。この「タイ」が素晴らしい。標高一〇〇〇米台の草原で冬季の氷雪の名残らし

一楨・啄木父子の歌碑

山本晶子

資金をば集むる勞苦つぶさに見
歌碑建つる目処まてつきしに安らぐ
一楨と啄木の歌刻む石青空に映
ゆる色して横たう

国見師のまきし一粒の種実り美
しき歌碑序幕されけり(故園見純
生先生)

(高退協の皆様方からも、沢山
の「寄付をいただき本当にあ
りがとうございました。)

川龍

梅檀の抄④

小澤 幸泉

イヤリング二十歳も若い
消しゴムで消えない文字を
漬物に埋めたか細い
前を行くイエスの姿

顔馴染み探す団地の
ひと回りして行く先を
さざんかが咲かぬ恩師の
結局は妻と子たちに

最終回とんでみたいな
神さまの負えぬ十字架
追いつづけ

悲しそう
孤老たち
考える
七周忌
ついて行き

い。黄色に染まった高原の延々たる木道を歩く、尾瀬に匹敵する感。やっとの思いで温泉宿に到着。その夜は温泉と御馳走で殿様気分です。四段階の中の最高のクラスを予約していたらしい。

翌日から舞台は下北半島に変わる。温泉から青森、野辺地を経て、むつ市下北へ。ここからはレンタカーでの遊覧の旅。まずはイタコの口寄せ

のほとりの菩提寺境内の「地獄」を巡る。続いて雨模様の中を宿泊予定の薬研温泉へ。ヒバの純林を流れる清流の中に竹む旅館で疲れを癒すことになった。泊まった「古畑旅館」は十八代続く由緒ある宿

お詫びと訂正

前号の「短歌」で山本晶子さんの「日本もかくあれしかと・・・」は「日本もかくあれかしと・・・」の間違いです。
また、叶岡淑子さんの「「転職の時代」の始まり・・・」は「「転職の時代」のはじまり・・・」の間違いでした。お詫びして訂正します。

高退協事務局の慶弔内規の変更についてのお知らせ

○「入院見舞い」は一ヶ月以上を対象にしておりますが、二〇〇九年度より「一ヶ月以上」を「二週間以上」に変更します。

会費納入のお願い

2009年度分会費納入がまだの方はお早めにお願ひします。来年度米寿を迎えられる方又はご存知の方事務局までお知らせ下さい。

であった。ここで特筆したいことは夕食の料理のことである。今までに多くの旅館に泊まってきたが、これほど美味に感動したことはなかった。高級な食材ではないが、味は天下第一と絶賛したい。板さんの心意気を強く感じた。

翌日は本州の北端と津軽海峡を味あうドライブとなった。最北端の地大間崎を通過して、「仏ガ浦」に寄る。やや波が出てきたので観光船は止めて国道に駐車、長い階段を降りて海岸にそそり立つ奇岩怪石を鑑賞。規模が大きいのに驚嘆、十分に満足した。その夜は馬門温泉に泊まる。最終日は野辺地駅でJRに乗車、八戸、東京、岡山で乗換え帰高。

主な活動および参加

- 9月10日(木)第5回事務局会議(高退協ニュース9月号発送)
- 9月11日(金)県高運連幹事会
- 9月12日(土)石川啄木・一禎(父子)歌碑除幕式 高知駅南口広場
- 9月13日(日)落合恵子 講演会(県教組女性部主催) ソーレ
- 9月13日(日)湯浅誠 講演「現代の貧困」旭文化センター
- 9月14日(月)～15日(火)第23回日本高齢者大会 大分県別府市
- 9月15日(火)県革新懇代表世話人会
- 9月18日(金)羽田澄子演出作品「嗚呼、満蒙開拓団」上映
- 9月号 みんなけんだより 52号 特集 梅原憲作さんを偲ぶ
- 9月23日(水)県高校障害児学校教育研究会第2回推進実行委員会
- 9月27日(日)森田稔 講演「私の歩んできた道一視覚障害者として 医師として」(視覚障害をもつ医療従事者の会) 高知市障害福祉センター
- 10月2日(金)県高運連幹事会
- 10月2日(金)映画「雪の下」 県立美術館ホール
- 10月4日(日)トークと映画「ひめゆり」 高知市立自由民権記念館
- 10月4日(日)近藤典彦 講演「啄木と高知」 県立文学館
- 10月6日(火)第6回事務局会議
- 10月9日(金)温泉・昼食会 香美市立美術館 ニューわかみや温泉
- 10月10日(土)高知県平和遺族会結成総会 平和資料館 草の家
- 10月12日(月・祝)元派遣村村長 湯浅誠 講演会「派遣村から見たもの」と今後の課題」 県民文化ホール・グリーンホール
- 10月13日(火)県革新懇代表世話人会
- 10月15日(木)第12次後期高齢者医療制度のすみやかな廃止を求める県民集会
- 10月17日(土)第23回高知県高齢者大会 ソーレ
- 10月24日(土)県革新懇第3回芸能祭 高知城ホール4階ホール
- 10月24日(土)・25日(日)2009年度高知県高校障害児学校教育研究会 高知女子大学永国寺キャンパス 高知工業高校
- 10月24日(土)～25日(日)全国革新懇第29回総会・交流会 奈良県奈良市
- 10月26日(月)～11月6日(木)くらしと医療を守る2009年全県キャラバン
- 10月27日(火)高退協ニュース11月号編集委員会

これからの日程

- 11月3日(火・祝)午後1時～第7回事務局会議(高退協ニュース11月号発送)
- 11月4日(水)～5日(木)高退協親睦旅行 山陽1泊2日
- 11月7日(土)午後1時30分～憲法9条で新しい国づくりへ 憲法公布63周年～こうち9条の会 5周年のつどい 高知ホール 記念講演 中谷雄二(弁護士)
- 11月10日(火)～12日(木)全退教ツアー 山口県
- 11月10日(火)午後1時30分～県革新懇代表世話人会
- 11月13日(金)午後1時30分～県高運連幹事会
- 11月15日(日)原稿締め切り『機関誌こうたいきょう第30号』
- 11月16日(月)～17日(火)全退教四国ブロック学習交流会 松山市
- 11月24日(火)第1回編集委員会『機関誌こうたいきょう第30号』
- 12月3日(木)午後2時～第8回事務局会議
- 12月3日(木)午後5時～高退協2009年望年会・芸能大会・作品展 高知城ホール
- 12月5日(土)午後1時30分～12,8平和のつどい 有馬頼師 講演会 ソーレ
- 12月 幡多地区望年会(予定)
- 12月8日(火)午後1時30分～県革新懇代表世話人会
- 12月11日(金)午後1時30分～県高運連幹事会
- 12月下旬 『高退協ニュース新年号』『機関誌こうたいきょう第30号』発送(予定)
- 2010年1月6日(水)新年初歩き(高退協・山の会)高知南嶺 芳原自然と歴史の道

相撲ミニ知識 (九十一)
林 勤

相撲協会八十年を振り返る 十四

※日本相撲協会は、大正十四年十二月二十八日に、文部省から財団法人の設立が認可されており、平成十七年で八十周年を迎えたが、連載の關係上、現在(平成二十一年)の分まで記載します。

平成十八年

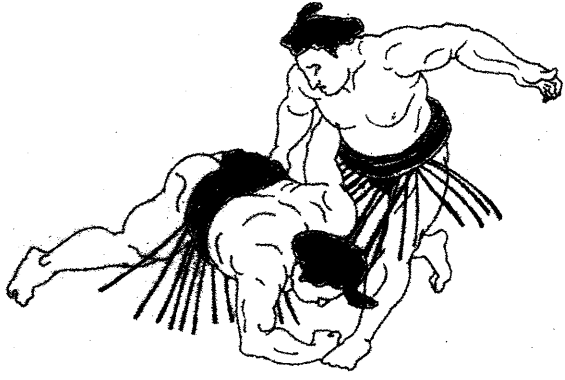
- 一月 琴歐洲大関に昇進、ヨーロッパ出身では初。新弟子より史上最短の十九場所で大関へ
- ・大関栃東十三場所ぶり三度の優勝。
- 三月 白鵬大関に昇進
- 五月 新大関白鳳が優勝

平成十九年

- 一月 朝青龍四連覇で優勝、20回の大会になり大横綱の仲間入り
- 五月 白鵬第69代横綱に昇進。
- 七月 琴光喜大関に。31才3ヶ月での昇進は、六場所制になってからの最高齢昇進。平成13年11月場所後に昇進の栃東以来およそ五年ぶりという「待望の日本人大関誕生」に湧いた。
- 八月 第5代横綱琴桜

平成二十一年

- 一月 双葉山69連勝から70年
- ・双葉山が、昭和11年(夏、5月)、12年(春、1月・夏、5月)、13年(春・夏)と五



平成二十年

- 二月 大関栃東引退
- ・時津風部屋序ノ口時太山死亡事故で「親方と兄弟子三人」を傷害致死容疑で逮捕。
- 五月 大関琴歐洲初優勝
- ・モンゴル勢らの優勝を断ち切れるか、横綱を狙えるか
- 九月 大麻問題で角界大荒れ
- 幕内露鵬と白鵬山は解雇、北の湖理事長は理事長を引責辞任。後任理事長は武蔵川理事(元横綱三重ノ海)
- ・新理事長に武蔵川
- 十一月 大関「日馬富士」(はるまふじ)誕生(※横綱を狙う大関になつてほしい)。

高知県革新懇総会が6月に開かれ、運動と共同の広がりが報告された。

第1は、高知県における軍事化の実態とそれに反対する運動が明らかにされた。明年3月に駐屯が予定されている陸上自衛隊が、米軍との合同演習の企て。宿毛湾に2度にわたりイージス艦が入港し軍港化の画策。

第2は、勤評・安保・反原発の県民的運動が、教育基本法改悪反対・後期高齢者廃止の運動に継承されている。

今こそ出番 高知県革新懇

第3に、「今までの運動を」さらに発展させるために、高知市の財政問題、高校入試制度などを幅広く共同の取り組みに広げなければならぬ、ことが86名参加で開かれた総会で確認された。

事務局長・浜田節子さん、世話人国松勝・岡崎清恵・小沢幸次郎・窪田一郎・窪田充治・渡辺直直さん達が会を支持している。第二九回全国革新懇は10月奈良県で開かれ、志位和夫日本共産党委員長が全体会で特別発言を行った。w

場所連続全勝優勝で前頭から横綱にかけ上がり、この間前人未踏の69連勝を達成、その記録が終ったのは昭和14年一月場所4日目(1月15日)であった

- 五月 新大関日馬富士初優勝
- 六月 さようなら高見山大五郎
- 昭和39年2月にハワイから来日、言葉や習慣の異なる中で外国人力士の先駆者として「辛抱と努力」を重ね、最高位関脇、幕の内優勝1回、横綱曙や小結高見盛らを育て6月に定年退職
- 七月 大関出島引退
- 九月 朝青龍四場所ぶり24回目の優勝(優勝記録は大鵬32回、千代の富士31回、北の湖・朝青龍24回、貴乃花22回)
- 逝く(66才、佐渡ヶ嶽親方、琴光喜らの親方)

・朝青龍の仮病騒動

七月場所まで21回目の優勝を遂げた朝青龍は8月3日からの夏巡業に休場届を出していた(腰の疲労骨折や左ヒジ損傷など)。ところが、この日モンゴルに帰国して元気にサッカーをしている姿が放映された。一気に仮病疑惑が浮上し「朝青龍には九月・十一月の二場所出場停止、4ヶ月間30%の減俸、十一月場所千秋楽まで病院、部屋、自宅以外の外出を認めない謹慎とする。師匠高砂親方(元朝潮)には4ヶ月間30%の減俸」等の厳罰処分となった。